

第8回教育委員会（定例）議事録

1. 開 会

令和元年 11 月 21 日（木） 午後 2 時 00 分

2. 場 所

丹波篠山市役所 第 2 庁舎 3 階 2-301・302 会議室

3. 会議に出席した委員

教育長 前川 修哉

委 員 酒井 克典

委 員 垣内 敬造

委 員 井上 友香

委 員 中村 貴子

4. 会議に出席した職員

部 長 稲山 悟

次 長 酒井 宏

課 長 小林 康弘

課 長 森本 康幸

課 長 尾松 直樹

課 長 前中 斉

課 長 柏戸 隆弘

課 長 村上 由樹

館 長 樋口 裕昭

所 長 齋藤 昭

所 長 酒井 直隆

課 長 谷掛 昭二

係 長 田中 真紀子

主 事 河野 元秀

5. 議事日程及び議案

別紙の通り

6. 開会宣言

午後 2 時 00 分

7. 会 期

（自）令和元年 11 月 21 日

（至）令和元年 11 月 21 日 1 日間

8. 会議録署名委員名簿

中村 委員

9. 閉 会

午後 4 時 26 分

前川教育長 全委員 前川教育長	<p>日程第 1、前回定例会議録の報告・承認について意見等はないか。 異議なし。 全員異議なしで、会議録をこのとおり承認する。</p> <p>日程第 2、会議録署名委員は 2 番中村委員とする。</p> <p>日程第 3、会期は令和元年 11 月 21 日、本日 1 日間とする。</p>
前川教育長	<p>日程第 4、議案に移る。議案第 1 号の「第 3 期丹波篠山きらめき教育プランの策定について」教育総務課説明を求める。</p>
小林課長	<p>《議案書に基づき説明》</p>
垣内委員	<p>パブリックコメントについて、どのような回答をしたのかは公開されるのか。</p>
小林課長	<p>パブリックコメントをした個人への個別回答はしないが、回答については公開をしている。</p>
酒井委員 小林課長	<p>パブリックコメントが少なかった原因はどのように考えているのか。 今回は、ホームページ、各支所、本庁舎、図書館等広く周知を実施した。パブリックコメントが少なかったことについて、分析まではできていないが、市民に教育の方向性について、一定の理解を得たのではないかと感じている。</p>
酒井委員	<p>市民の関心がないことが問題であるので、完成したきらめき教育プランを広く周知していくことが必要である。前回のプランからの変更点や、ポイントとなる点などを分かりやすく概要版にまとめるなどして周知を図ってほしい。</p>
小林課長	<p>過去、きらめき教育プランを策定した後に、概要版を広報に挟み込んで配布している。ポイントを的確にまとめることは難しいが、今後 5 年間の教育の方向性を分かりやすくまとめて市民に周知するよう努める。</p>
中村委員	<p>p. 22 について、学校園への図書貸出について、2 か月に一度の貸出となっている理由を教えてください。</p> <p>p. 26 について、交響ホールの利用率が低いと感じる。他施設と比べ高額なため利用率が低くなっているのではないだろうか。</p> <p>p. 34 について、地域全体での子育ての推進が必要であると考え。子育て世代の地域全体での子育ての意識をもってもらう必要があると考え。</p> <p>p. 44 について、認定こども園化の時期について答えられる範囲で構わないので教えてください。</p>
樋口館長	<p>学校への図書貸出については、業務量の増加により、本来の図書館業務に滞りが発生する恐れがあるため、1 か月に一度から 2 か月に一度の貸出に変更した。今後は、会計年度任用職員制度の導入により、図書館司書の業務時間が増加する予定であるため、従来の 1 か月に一度の貸出ができると考えて</p>

前川教育長	いる。
樋口館長	記載箇所が「課題と今後の方向性」であるが、記載が課題のみの記載となっている。今後の方向性については、未記載で良いのか。
酒井委員	課題が解決でき次第記載を行う。
小林課長	図書館に近い、遠いで子どもが本を借りる機会は変わってくると思う。学校への図書貸出はそういった機会を均等にする取組であると考えてるので、ぜひ、1か月に一度は貸出を実施してほしい。その方向性をきらめき教育プラン内にも記載してほしい。
前川教育長	p. 55に「市内配本所ネットワークを有機的に機能させ、利便性の向上に取り組む。」との記載がある。きらめき教育プランは、5年間の方向性を示すものであり、抽象的な表現に留めている。具体的な取組については、毎年作成している、「丹波篠山の教育」の中で記載していく予定である。
前川教育長	配本所と学校への図書貸出は少しニュアンスが異なる。予算も関わってくる内容であるので、意見を網羅したような対応ができるか分からないが、再度事務局にて記載内容を検討したい。
小林課長	p. 26の田園交響ホール利用率について、田園交響ホール館長が欠席のため、分かる範囲で回答する。 数年前に、施設の使用料金について見直す機会があった。施設の規模、設備等を考慮して、適切な料金であると判断した。他市の同程度ホールと比較しても高額ではないと考える。 四季の森生涯学習センターの多目的ホールや市民センターの多目的ホールと比較すると高額であるが、施設、設備面で差異があり単純に利用料金のみで比較することができないように思う。
前川教育長	運営方法の見直し時期について課題として記載している。事務局で検討を重ね、具体策を「丹波篠山の教育」で記載していきたいと思う。
谷掛課長	p. 34の内容については、社会教育、幼児教育、学校教育の連携が必要な内容となっている。社会教育事業を担っている公民館として意見はあるか。 現状は公民館として地域に深く関わった取り組みができていない。地域活動のサポートをしている市民協働課と連携して、地域が抱える課題、地域が求めること、公民館ができることの把握を行いたい。
前川教育長	その他に、農都創造部と保健福祉部と教育委員会で連携して、どんぐりマーケットという取組をしている。これは、地域での取組となっており、子育てに森や木に興味関心を持ってもらうイベントを混ぜ、自然の中で遊ぶことの重要性を親、地域住民に理解してもらおうと考えている。その流れをコミュニティスクールに繋げて、地域と学校の連携を図っていく狙いがある。
酒井委員	各担当課が、それぞれで解決に乗り出さなければならない課題であると考えている。
前川教育長	実態把握がこれからで良いのかと危機感を感じた。今後5年間で課題を解決するという気持ち、危機感を持って取り組んでほしい。 市民の方々は、今回策定するような基本的な計画に対する関心より、我が

	<p>子が受けるであろう「教育」に対する関心が高い。</p> <p>しっかりとした展望を持ち計画を策定して、計画に基づき事業を進めることの重要性をしっかりと理解しながら、関心が高い「教育」に反映していく流れを構築することが重要である。こういった仕組みを定着していきたいと考えている。</p> <p>続いて p. 44 の認定こども園化の時期について、こども未来課の回答を求める。</p> <p>認定こども園化については、具体的な時期までは決まっていない。現在、篠山・たまみず・岡野幼稚園区における教育・保育のあり方検討会を開催しており、認定こども園化に向けた協議を重ねている。</p>
前中課長	
酒井委員	<p>「子育ていちばん」を標語にして進めていくからには、きらめき教育プランの中で今後5年間のスケジュールをある程度は示してほしい。</p> <p>今回策定するきらめき教育プランは、市の総合計画との整合性を取るために途中での見直しも考えているのか。</p>
小林課長	<p>きらめき教育プラン策定委員会の中でも同様の意見があり、臨機応変にその状況に応じて変化させていくことが必要であると回答を得ている。市の総合計画との整合性、社会情勢を鑑みて修正をしていきたいと考えている。</p>
酒井委員	<p>p. 9～10 の学力に関する記載について、目標をもっと強気に記載してもよいのではないだろうか。学力向上に関する決意が込められた文言が入っていても良いと思う。</p> <p>p. 19 の学校の適正規模・適正配置について、課題と今後の方向性が分かりづらい記載となっている。分かりやすく記載することを検討してほしい。</p>
小林課長	<p>p. 19 については、教育の機会均等を考慮し、さらに住民主体で進めていく課題であることを意味している文章である。明確な表記が難しい部分なので、このように記載にしている。</p>
前川教育長	<p>学校の適正規模・適正配置の問題を遠隔授業によって解決したいと考えている。生徒数、情報量、実体験の回数などこれまで統廃合によって解決してきた課題を科学技術（ICT）の活用により、解決できるように研究を進めていきたい。来年度開設される教育研究所でそのような研究も進めていきたい。</p>
酒井委員	<p>事務局として課題を整理して方向性を決めてほしい。</p>
前川教育長	<p>意見を反映できるよう文言修正を加えていく。</p>
前川教育長	<p>議案第1号の「第3期丹波篠山きらめき教育プランの策定について」異議はないか。</p>
全委員	<p>異議なし。</p>
前川教育長	<p>全員賛成で、議案第1号の「第3期丹波篠山きらめき教育プランの策定について」を可決する。</p>
前川教育長	<p>議案第2号の「令和元年度12月補正予算案を市長に提案することについて」</p>

	教育総務課説明を求める。
小林課長	《議案書に基づき説明》
中村委員	学校教育課の【学力向上研修会講師謝金】、【市学力・生活習慣状況調査業務委託料】が減額となっているが減額理由を教えてください。
尾松課長	学力向上研修会については予定通り2回実施したが、兵庫教育大学との連携を活用して講師を招聘できたため、講師謝金が減額となっている。 市学力・生活習慣状況調査業務委託料の減額については、予定より受験者が少なかったため、伴って調査業務料委託料金が下がったことによる減額である。
酒井委員	市学力・生活習慣状況調査の効果を教えてください。
尾松課長	市学力・生活習慣状況調査は4,308,000円の予算で実施している。 効果については、人間関係等の生活面の調査と学力面の調査の相関性を各学級単位で調べることができるため、全国学力・学習状況調査より活用している。
酒井委員	例えば調査は隔年で実施して、課題を改善することに予算を措置するという検討も必要ではないか。
垣内委員	酒井委員が言うように予算は限られているので、調査と改善にかかる費用バランスを考える必要があるように思う。
前川教育長	費用対効果は非常に重要である。来年開設される教育研究所では、限られた予算を有効に活用するための研究も重ねていく予定である。
垣内委員	【自然学校委託料】の減額について、自然学校のプログラムが雨天によって中止になったことに伴う減額とのことであるが、天候によることなので仕方がないことであるが、雨天時のプログラムも考えておいてほしい。
尾松課長	雨天時のプログラムは考えられているが、今回は安全面や様々な点を考慮して中止となった。貴重な体験の機会なので意見を反映し、中止とならないように内容を精査したい。
前川教育長	議案第2号の「令和元年度12月補正予算案を市長に提案することについて」の異議はないか。
全委員	異議なし。
前川教育長	全員賛成で、議案第2号の「令和元年度12月補正予算案を市長に提案することについて」を可決する。
前川教育長	議案第3号の「令和2年度公立学校教職員異動方針について」学校教育課説明を求める。
尾松課長	《議案書に基づき説明》

酒井委員 尾松課長	<p>丹波篠山市の異校種間交流の実績を教えてください。</p> <p>異校種間交流は、篠山養護学校との交流のみにとどまっている。小・中連携が重要視されている中であるので、異校種の免許を持っており、積極的な異動の希望がある場合においては、異校種間の異動を行っていく方向性を校長会で伝えた。</p>
酒井委員	<p>同校種に長期間在籍することは、メリットももちろんあるがデメリットもある。何年間に一度、可能な職員については、異校種へ異動を行うなどの取組をすることで、教員にとっても学校にとっても良い影響があると思う。</p>
前川教育長	<p>管理職については、すでに異校種間の交流が4名行われている。全国的には小学校の教科担任制が進んでいる。学校現場との十分な協議等が必要であると思うが、子ども達にあった指導ができる人的配置を様々な視点から考えていきたい。</p>
前川教育長	<p>議案第3号の「令和2年度公立学校教職員異動方針について」異議はないか。</p>
全委員 前川教育長	<p>異議なし。</p> <p>全員賛成で、議案第3号の「令和2年度公立学校教職員異動方針について」を可決する。</p>
前川教育長	<p>日程第5、報告事項に移る。報告1「寄附採納について」教育総務課説明を求める。</p>
田中係長	<p>《議案書に基づき説明》</p>
前川教育長	<p>報告2「後援名義の承認について」教育総務課説明を求める。</p>
田中係長	<p>《議案書に基づき説明》</p>
前川教育長	<p>報告3「小中学校児童生徒の問題行動等について」学校教育課説明を求める。ただし、個人情報が含まれる部分については、本定例教育委員会の最後に会議を非公開にして報告を行うこととするが良いか。</p>
全委員 前川教育長	<p>異議なし。</p> <p>では、通常の報告について、学校教育課説明を求める</p>
尾松課長	<p>《議案書に基づき説明》</p>
前川教育長	<p>報告4「令和元年度11月小・中・特別支援学校定例校長会について」学校教育課説明を求める。</p>
尾松課長	<p>《議案書に基づき説明》</p>

前川教育長	報告 5「教育長報告」について報告する。
前川教育長	<p>それでは、暫時休憩とし、報告 3「小中学校児童生徒の問題行動等について」個人情報が含まれる部分を再開後に報告とする。なお、関係職員のみのお出席とし、その他職員等については退出とする。</p> <p>《暫時休憩》</p>
前川教育長	<p>それでは、休憩を終了とし、報告 3「小中学校児童生徒の問題行動等について」学校教育課説明を求める。</p> <p>《個人情報を含む内容のため非公開》</p>
前川教育長	それでは、第 8 回定例教育委員会をこれで終了する。

